

# 林 土 連

NO.270

RINDOREN KAIHO



令和6年度林土連定時総会

## 主な記事

令和6年度林土連定時総会及び関連行事  
林土連第1回理事会  
会員からの声



## 令和6年度定時総会を開催

令和6年2月15日(木)、東京都千代田区の「ホテルルポール麹町」において、令和6年度定時総会及び関連行事を開催しました。

今年は、4年ぶりにコロナ禍前の形式に戻しての開催としました。定時総会には全国から参集いただいた会員の皆様をはじめ、ご来賓として自由民主党森林整備・

治山事業促進議員連盟会長の山口俊一衆議院議員、林野庁国有林野部の橋政行部長、日本林業協会の島田泰助会長、林野庁業務課の嶋田理課長及び山内三津雄企画官ほか担当官の方々、林道安全協会の前田直登会長、日本治山治水協会の津元頼光専務理事、全国森林土木建設業協会の川野康朗専務理事のご出席を賜りました。

また、定時総会に併せた関連行事として、林土連会長表彰受賞式及び林野庁治山・林道工事コンクール受賞者報告会を開催し、一連の行事終了後には、同



林野庁国有林野部 橋部長



森林整備・治山事業促進議員連盟 山口会長

会場にて関係する多くの国会議員の皆様方や、関係林業団体等の皆様方をお招きし、懇親会を開催しました。

### 令和6年度定時総会の概要

定時総会は、小野徹副会長の開会のことばの後、新谷龍一郎会長が開会にあたっての挨拶を行い、その後、来賓の皆様よりご挨拶をいただきました。

最初に、山口俊一衆議院議員より「コロナ禍から日常を取り戻しつつある中、物価高騰など新たな課題が発生しているが、林野公共事業予算については、関係者の皆さんの協力をいただく中、前年度の補正予算と令和6年度の当初予算を合わせて2682億円を確保することができた。改めて2700億円に向けて目標ができたという思いであり、引き続き予算確保に向けて頑張っていきたい。

一方、予算獲得には、確保した予算をいかにスムーズに、かつ効率的に使っていくかが重要であり、加えてその仕事がどんな仕上がりを見せたかも非常に大事である。林土連の皆さんが担っている林野公共事業の実施地域のほとんどは過疎地域である。地元により効果の出る工事をスムーズに執行できるようにご協力をお願いしたい。人手不足対策や歩掛りの改正など、取り組まなければならない問題も多いが、皆さんと課題を共有しながら一つ一つ解決していきたい」とのご挨拶をいただきました。

続いて、林野庁の橋政行国有林野部長より「相次ぐ激甚な山地災



日本林業協会 島田会長



議長の五十嵐北見協会会長

害に対して林野公共事業予算の確保や国土強靱化対策を一層進める必要がある。一方で、受注環境の改善にも引き続き積極的に取り組んでいく考えであり、現在取り組んでいる「選ばれる森林土木」について、今年も全国キャラバンなどを実施する予定であるので、林野公共事業予算の確保に向けた取り組みと併せて、さらなるご理解ご協力をお願いしたい」とのご挨拶がありました。

また、日本林業協会島田泰助会長からは、「地球環境問題を背景として森林・林業の役割についての関心が一層高まっている。加えて頻発する異常気象による自然災害は、各地に甚大な被害をもたらしており、森林整備や治山対策などの「緑の国土強靱化」対策を一層強力に進めなければならない。治山・治水は国の要と言われ、このような事業を担われている林土連の皆さまへの期待と役割は益々大きなものとなると考えており、さらなるご活躍に期待したい」とのご挨拶をいただきました。

議事は、北見林業土木協会の五十嵐龍会長を議長に選任し、第1号議案「令和5年度事業報告及び決算」について、堂本専務理事から説明を行い、続いて水本豪監事から監査報告が行われ、出席者の過半数の賛成により承認されました。

また、参考として、堂本専務理事から、先の理事会で決定した「令和6年度事業計画及び予算」について報告を行いました。

第2号議案「新規会員の加入」については、長野県の博友興業株式会社様の加入が全会一致で承認されました。

第3号議案「役員改選」については、堂本専務理事から役員任期はこの定時総会までであることから令和5年12月6日に開催した役員選任委員会において理事候補者15名及び監事候補者2名が選定されていると説明し、議長は説明のあった候補者について選任の決議を行い、候補者全員が選任されました。今回の改選では、東京林業土木協会の大藤博文氏が新しく監事に就任しました。

第4号議案「その他」については、出席者から特段の議案提起はなかったため、議長は議事の終了を宣言して議事を終了しました。

最後に、堀川隆志副会長の閉会のことばで定時総会を終了しました。

大変お忙しいところご出席賜りました来賓の皆様には、改めて心よりお礼を申し上げます。

## 林土連会長表彰及び 林野庁治山・林道工事コンクール 受賞者報告会

定時総会の終了後、同会場で「林土連会長表彰及び林野庁治山林道工事コンクール受賞者報告会」を開催しました。

最初に、長年にわたり協会の発展に寄与したとして各協会から推薦された20名の会員に林土連会長から表彰状が贈られました。表彰状は、新谷会長から受賞者を代表して九州林業土木協会の株式会社島津建設の東富美男様に授与されました。

表彰状授与後、受賞者を代表して東富美男様より「多くの会員が立派な活動をしている中で、私どもが表彰を受けたことは会員の皆様のご理解とご支援の賜であり感謝を申し上げます。この受賞を機に一層精進を重ねます」とのお礼の挨拶がありました。



会長表彰を授与される株式会社島津建設 東 様



株式会社島津建設 東様による会長表彰受賞謝辞



青山林野庁長官



株式会社長田組 長田様による  
工事コンクール受賞謝辞

続いて、定時総会当日の午前中に林野庁で行われた「林野庁治山・林道工事コンクール」で農林水産大臣賞や林野庁長官賞を受賞した方々の受賞報告会を行いました。

報告会では、受賞者を紹介した後、青山豊久林野庁長官から受賞者に対するお祝いと激励のご挨拶をいただきました。

最後に、受賞者を代表して治山工事部門で農林水産大臣表彰を受賞した大阪林業土木協会の株式会社長田組の長田道典様より「この度の受賞は身に余る光栄であり、農林水産省、林野庁をはじめ、森林管理局・署の皆様方のご指導の賜と感謝申し上げます。本日の受賞を機に今後一層の技術の研鑽と安全の確保に努めるとともに、工事の施工を通じて地域社会に貢献して参ります」とのお礼の挨拶がありました。

また、式典終了後、林土連会長表彰受賞者及び林野庁治山・林道工事コンクール受賞者は、青山林野庁長官、新谷会長を囲んで記念撮影を行いました。



林土連会長表彰受賞者

林土連会長表彰受賞者 (敬称略)

九 州		四 国		大 阪		名 古 屋		長 野		東 京	前 橋		秋 田	青 森	函 館	札 幌	帯 広	北 見	旭 川	協 会 名	氏 名
株式会社島津建設	株式会社長友組	明治建設有限会社	湯浅建設株式会社	別府建設株式会社	株式会社塩谷組	田口土木株式会社	松田建設株式会社	勝間田建設株式会社	大宗土建株式会社	植野興業株式会社	株式会社山嘉土建	東栄建設株式会社	株式会社丸高	株式会社今与建設	渡辺建設株式会社	岩倉建設株式会社	イチエイ山田建設株式会社	一般社団法人北見林業土木協会	株式会社騎西組	株式会社	土手裕司
東 富美男	長友正憲	川崎篤志	湯浅雅喜	谷垣武志	村田和隆	田口宗甫	松田欣也	勝間田剛	杉山一樹	植野正	斎藤勝巳	渡部泰夫	高橋剛	今俊順	渡辺一史	鈴木泰至	中塚学	鈴木富雄	会 社 名		



林野庁治山・林道工事コンクール（治山工事の部）受賞者

林野庁治山・林道工事コンクール受賞者（敬称略）

○治山工事

〔農林水産大臣賞〕

大阪	協会名	株式会社 長田組	代表者氏名
	協会名	株式会社 田名	代表者氏名

〔林野庁長官賞〕

九州	大坂	長野	東京	前橋	青森	秋田	函館	帯広	北見	札幌	協会名	代表者氏名
那須建設株式会社	株式会社 松本工務店	奥田工業株式会社 株式会社 吉澤組	小野建設株式会社 河津建設株式会社	株式会社 武藤組	相内建設株式会社	山科建設株式会社	株式会社 松本組	西江建設株式会社	松谷建設株式会社	株式会社 五十嵐工業	会 社 名	代表者氏名
那須暢史	松本貞人	奥田和彦 吉澤利文	小野大和 河津市元	武藤恭平	相内立己	山科 優	大越雄司	西江靖幸	松谷和秀	五十嵐 千津雄		代表者氏名



林野庁治山・林道工事コンクール（林道工事の部）受賞者

四国	大 阪	長 野	青 森	秋 田	函 館	帯 広	北 見	旭 川	札 幌	協 会 名	九 州	協 会 名		
山下・森本経常建設共同企業体	有限会社 十和建設	株式会社 共栄建設工業	株式会社 梅田組	株式会社 羽田組	岩手建設工業株式会社	奥山建設株式会社	藤信建設株式会社	小針土建株式会社	興和建設株式会社	株式会社 中川建設	株式会社 福田組	第一建設株式会社		
山下政司	松下充宏	小川裕也	梅田桂司	佐藤公明	八重樫博之	奥山隆雄	佐藤義光	小針武志	中村健也	吉田寛	福田隆二	代表者氏名	橋邊正之	代表者氏名

〔林野庁長官賞〕

○林道工事  
〔農林水産大臣賞〕

## 4年ぶりに懇親会を開催

林土連定時総会と工事コンクール受賞者報告会などの一連の関連行事終了後、同じ会場で4年ぶりに多くのご来賓をお招きしての懇親会を開催しました。

冒頭の新谷会長の挨拶の後、来賓としてお招きした森林整備・治山事業促進議員連盟の国会議員の先生方から、お祝いと力強い激励のご挨拶をいただきました。

懇親会には19名の国会議員の先生方のほか、代理として多くの秘書の皆様にもお越しいただきました。

また、関係林業団体の皆様にも多数ご出席いただき、林野庁の青山長官の乾杯の音頭で始まった懇親の宴は、多くの出席者で賑わいがある会となりました。

ご来賓を賜りました国会議員の先生方をはじめ、関係団体等の皆様方には誠にありがとうございました。



懇親会の様子

## 第1回林土連理事会の開催

1月25日(木)、海運クラブで令和6年度第1回理事会を開催しました。

理事会では、冒頭、新谷会長から、「令和6年度の当初予算が概算決定され、林野公共事業予算は、令和5年度補正予算と合わせて、2700億円に迫る額を確保できた。予算の確保に協力いただいた各協会、その他関係者に感謝申し上げます。さらに、昨年12月には、公共工物品質確保促進法の改正に関する骨子案が示され、新技術の活用推進など、価格以外の要素を含めて総合的に価値の高い技術や工法を積極的に採用していく方針となっている。また、4月には時間外労働時間の罰則付き上限規制が適用されることから、生産性のさらなる向上と必要経費の予定価格への反映は益々重要となる。林土連としても、引き続き公共工物品確法の改正を注視するとともに工事受注環境の改善等に尽力して参りたい」との挨拶がありました。続いて、公務の合間を縫ってご出席いただいた林野庁の橋政行国有林野部長から、能登半島地震への支援物資等の迅速な対応や令和6年度の予算要請に対して当協会への謝意に続き、令和5年度補正予算及び令和6年度予算の適切な執行に協力をお願いしたいとのご挨拶をいただきました。

理事会は、定款により新谷会長が議長を務め、堂本専務理事が提案・説明する形で進められました。





新谷会長



橘国有林野部長

理事会での主な協議事項は次のとおりです。

- (1) 令和6年度林土連定時総会及び関連行事について  
令和6年度林土連定時総会は、2月15日(木)にホテルルポール麴町で開催することが提案され、承認されました。
- (2) 令和5年度事業報告、決算報告及び監査報告について  
令和5年度事業及び決算の報告に続き、水本監事から監査報告を行い、これらの議案は承認されました。
- (3) 令和6年度事業計画及び予算の一部修正について  
令和5年度決算を踏まえて令和6年度予算を一部修正することとし、承認されました。
- (4) 令和7年度林土連技術現地研修会について  
令和7年度の林土連技術現地研修会は、長野協会の管内で開

催したいとの提案があり、承認されました。その後、長野協会の木下会長から、多数の会員の参加をお待ちしているとの挨拶がありました。

その他、堂本専務理事から、

- ① 令和5年度コンプライアンスに関する活動報告
  - ② 令和6年度コンプライアンス委員会事業計画
  - ③ 令和6年度における林土連の行事予定
- などについて、説明を行いました。



理事会の様子



嶋田業務課長



山内企画官

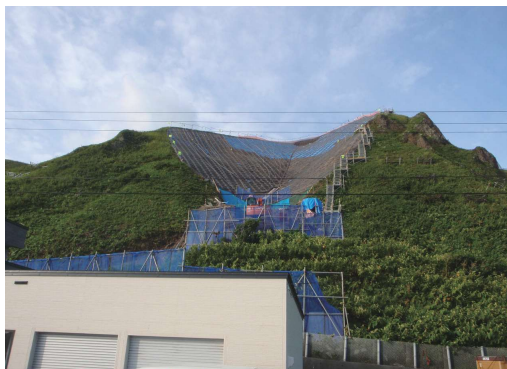
理事会終了後には、林野庁業務課から所掌事項についてご説明をいただきました。

ご出席いただいた嶋田理業務課長からは、令和6年度当初予算案及び令和5年度補正予算の概要並びに国有林の管理経営に関する基本計画の概要についてご説明があり、続いて山内三津雄企画官からは、能登半島地震に関する災害対応や令和5年度の山地災害の発生状況、施工性の高い工種・工法の適用促進などについてご説明がありました。

業務多忙な中、ご出席いただいた林野庁の皆様に変更して御礼を申し上げます。



RCM法面切土・整形



吹付・法枠工

弊社は、北海道上川総合振興局管内の最北部に位置する中川郡中川町に本社を置く建設会社です。同業他社と同様に各官庁発注工事を受注し、施工しています。

その中で数年来、北海道森林管理局・宗谷森林管理署発注による礼文島内国有林での工事を受注し、施工させて頂いております。

施工地礼文島は当社中川町から宗谷管内稚内市まで85km、そこか

「これからの離島工事のあり方」

「会員からの声」

株式会社 中川建設

取締役土木部長 錦戸明彦

ら礼文島まで海上59kmの交通手段はフェリーで2時間移動するしかありません。同郷の北海道民である私たちも礼文島は困難な離島工事であると認識しています。

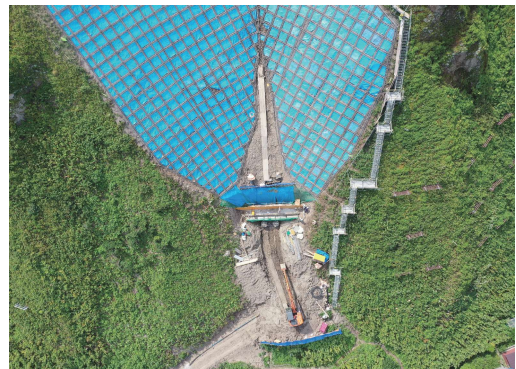
工事内容は山腹崩壊箇所の復旧工事であり、従来通りの施工方法ですが、昭和・平成年代の強くて堅固な構造物を作る事が主目的の時代から、近年では工事的物に求められている事が大きく変化していると感じています。

これは、島が利尻礼文サロベツ国立公園に指定され、観光事業を推進し、外国人インバウンドも含め誘客数を大幅に延ばしてきていることも要因の一つだと思っています。

国有林内の工事であっても環境省、北海道、礼文町、漁業組合など多方面からの要望を集約し、工事に反映させながら施工しなければなりません。しかしながら、離島では森林土木工事を施工する会社が皆無であり、各種作業員を島外から確保しなければならず宿泊



雪崩柵再設置荷揚通路の設置



土留工の施工状況

施設費等経費がかなり必要となります。又、「島では工事に必要な資機材が入手困難なことから急な設計変更への対応が難しい。」「島内はまだネットワーク通信が脆弱な為、ICTなどの近代施工ができない。」などの理由から離島では工事の開始前に他官庁との打合せ、工程計画、資機材の納期・搬入予定等を綿密かつ正確に準備する事が重要です。故に、交通網が確立され資機材がすぐ手に入る事に慣れた若年層の技術者には担当させられず経験値のある年配技術職員に任せている状況です。このことから、どの様にして若い技術職員に離島工事を継承するか弊社の重要課題となっています。

最後に令和になり、今後、離島での工事では国有林の保全のみにとどまらず、島全体の環境、暮らしを守るために、堅固で環境に配慮し、傷んだ山林を直し、元の自然の状態になるようこれまで以上に創意工夫し施工していく事が必要と考えています。



土留工の施工状況



工事完成

## 林野庁治山・林道工事コンクール 審査の経過紹介（抜粋）

令和5年度の林野庁治山・林道工事コンクールで農林水産大臣賞を受賞した工事について、その審査の経過を紹介します。

### ○ 上秋津災害対策治山工事

施工者 株式会社長田組（大阪協会）

治山工事の「上秋津災害対策治山工事」につきましては、集水井の掘削が深く危険度が高い施工条件でありましたが、岩石破碎において衝撃波が発生しない非火薬岩石破碎工を活用し安全に配慮したことや掘削により発生した岩石や土砂を混合することで空隙を少なくし、現地発生土の場外運搬の回数を軽減することに加え、起工測量、段階確認や材料検収において、通常現地での監督職員の立会が必須なところ、遠隔現場を活用するなど効率的な施工管理の取組が極めて高い評価を受けたものであります。



上秋津災害対策治山工事

### ○ 楠見229林道新設工事

施工者 第一建設株式会社（九州協会）

林道工事の「楠見229林道新設工事」につきましては、UAVレーザを活用し起工測量することで、起工測量に要する作業日数の大幅な削減を実現し、UAVによる空撮で作成したオルソ画像を毎月作成し効率的な進捗管理を行うとともに、自動追尾式トータルステーションによるICT建設機械を活用した掘削を行うことで通常の約2倍の施工量を実現しました。

さらに、LIDAR機能付きモバイル端末を活用し構造物の3次元点群データを活用した計測結果と通常の計測結果を検証し、モバイル端末による測量の精度が十分活用できるものであることを確認するなど幅広いICT技術の活用の取組が極めて高い評価を受けたものであります。



楠見229林道新設工事



令和5年度  
社会貢献活動実施報告書 (Vol. 10)

## 令和5年度

### 社会貢献活動実施報告書 (Vol.10) を発行

林土連の会員である全国14の林業土木協会では、毎年、各地の有林野などで様々な社会貢献活動を実施しています。

令和5年度も、各協会と関係森林管理局との間で締結している「国有林防災ボランティア協定」に基づいて、会員の専門的知見と機動力を活かし、豪雨直後に被害発生状況等を調査して森林管理局・署に報告する防災ボランティア活動をはじめ、森林（国有林）の整備や森林レクリエーション施設の環境整備、林道・遊歩道の補修など、地域の実情や要望に応じて多岐にわたる活動を実施してまいりました。林土連では、これらの活動をより多くの皆様に知っていただく

め、各協会が行った社会貢献活動の概要を平成26年度から冊子に取りまとめ発行しており、今年も令和5年度の各協会の活動を冊子として取りまとめ、お世話になっている主要な国会議員、林野庁、各森林管理局等に配布させていただきました。なお、各協会が実施した社会貢献活動は、当協会のホームページ (<http://rindoren.or.jp/>) にも掲載しています。

#### ● ● ● 協会の主な動き ● ● ●

1月18日 (木) 令和5年度監査

1月25日 (木) 第1回理事会、三役会議、コンプライアンス委員会 (海運クラブ)

2月5日 (月) 事務局長定例会議 (リモート)

2月15日 (木) 令和6年度林土連定時総会、第2回理事会 (ホテルポール麴町)

3月4日 (月) 事務局長定例会議 (リモート)

#### ● ● ● 今後の予定 ● ● ●

4月2日 (火) 令和6年度第1回技術・安全委員会

(永田町ビル4階 リモート併用)

7月中旬 林土連三役会議

9月5日 (木) 第3回理事会、三役会議、コンプライアンス委員会 (海運クラブ)

9月6日（金） 事務局長会議（海運クラブ）

10月22日（火） 林土連技術現地研修会（大阪協会管内）

～23日（水）

11月18日（月） 技術担当者連絡協議会（海運クラブ）

11月19日（火） コンプライアンス講習会（海運クラブ）

労働災害防止研修会（海運クラブ）

11月20日（水） 2024 治山・林道のつどい（海運クラブ）

12月5日（木） 第4回理事会、三役会議（海運クラブ）

● ● ● 編集後記 ● ● ●

◎ 令和6度林土連定時総会は、新型コロナウイルス感染症拡大前の定時総会のスタイルで開催し、多くの会員の皆様に参集いただき、一連の行事を滞りなく終了することができました。

また、ご多忙の中、来賓としてご臨席いただきました森林整備・治山事業促進議員連盟の山口俊一会長、林野庁の橋国有林野部長はじめ多くの皆様には改めて厚く御礼を申し上げます。

◎ 今回、林土連会長表彰を受賞された皆様、そして林野庁治山・林道工事コンクールで農林水産大臣賞や林野庁長官賞を受賞された皆様方には、心からお慶びを申し上げます。

これまでのご尽力に敬意を表しますとともに、それぞれの地域において更にご発展・ご活躍されますことをお祈り申し上げます。

「お詫びと訂正」

林土連会報No.269号に掲載の表紙写真の説明について、樽前山（覚生川）地域防災対策総合治山事業 岩倉建設株式会社（旭川林業土木協会）としておりましたが、（札幌林業土木協会）の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。

一般社団法人

日本林業土木連合協会

東京都千代田区永田町二丁目四一三

永田町ビル六階

(TEL) 〇三―三五八一―七七〇四

(FAX) 〇三―三五〇四―一六八七

<http://rindoren.or.jp/>

発行者 堂 本 整